



2009.9

TIAニュース VOICE

No.34

編集・発行 財団法人高松市国際交流協会

当協会夏の2大イベント、『第13回外国人のど自慢・お国自慢大会』と『国際交流おどり子連・第44回高松まつり総おどり大会』が今年も盛大に行われました。

のど自慢大会は8月2日(日)、サンポートホール小ホールにて行われました。出場してくれた外国人は、のど自慢21組、お国自慢3組、総勢8カ国38名。ステージ上での熱いパフォーマンスを満席御礼の会場が盛り上げ、会場は終始拍手と歓声で溢れていました。

8月14日(金)の総おどりには、外国人の方と市民が共に楽しみながら国際交流を図れるようにと連を編成し、17回目の参加になります。今年は女性用の浴衣50着を新しく購入。あでやかな浴衣を着て(少し苦しそうではありますが)、皆とても嬉しそうでした。

※詳細は当協会ホームページに載せてあります。http://ww2.enjoy.ne.jp/~tia/

国際交流おどり子連



外国人のど自慢・お国自慢大会



実行委員長賞
「喜びの遊牧民」

最優秀賞
趙 偉さん



INDEX

- ★外国人のど自慢・お国自慢大会
- ★国際交流おどり子連
- ★セントピーターズバーグ市
高校生受入れ&派遣
- ★平成21年度第1回情報交換会
- ★南昌市中学生派遣&受入れ
- ★カムチャツカ国立大学生受入れ
- ★姉妹・友好都市からこんにちは
- ★私費外国人留学生奨学金支給制度
- ★国際交流団体紹介
KICA香川国際文化協会
- ★インフォメーション
- ★編集後記



高松ライオンズクラブ会長賞「新しい時代へ」



優秀賞
高藤エメリアさん

新型
インフル
エンザに備え
手洗い・うがいを
習慣付けましょう

表現力・歌唱力・日本語力を基準に審査されたのど自慢大会では、中国出身の趙 偉さんが、とろける様な甘い歌声で「I Love You (尾崎豊)」を熱唱し、最優秀賞を受賞。また、フィリピン出身の高藤エメリアさんの「TRUTH (伊藤由奈)」、中国出身の趙 亮さん&劉 興楊さん「時の足音 (コブクロ)」がそれぞれ優秀賞を受賞。他準優秀賞として、3名が選ばれました。

お国自慢では、出身国独自のパフォーマンスで、国の文化を紹介します。高松ライオンズクラブ会長賞に、中国人企業研修生による踊り「新しい時代へ」。中央経済振興事業協同組合理事長賞に、香川県海外技術研修員のA.B.C.によるアシェーダンス「オンダ オンダ」。そして、実行委員長賞にモンゴル出身の白金虎さんによる馬頭琴「喜びの遊牧民」が選ばれました。

年々レベルが高くなっていき、今年は誰が優勝してもおかしくない程でした。来年がより楽しみです。



【中央経済振興協同組合理事長賞】
「オンダ オンダ」



【優秀賞】
趙 亮さん&劉 興楊さん



高松まつり

国際交流おどり子連



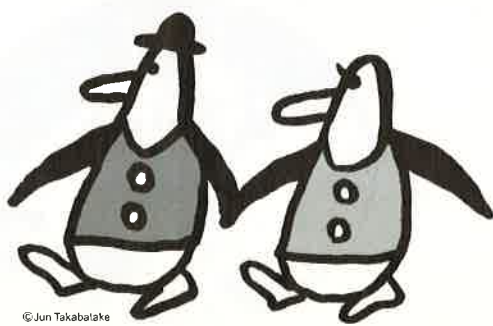
初めての浴衣・ハッピーを身につけた外国の方々は、みんな思い思いに写真を撮ったり、最後の練習に励んだりと本番に備えていました。日が沈みかけた午後6時半過ぎ、いよいよスタートです！沿道からの声援に、はにかみながらも、中央通りを約1時間、生き生きとした笑顔で踊り切りました。



2009年夏の良い思い出が一つ増えましたね。
皆さん本当にお疲れ様でした！

※観覧・本番のドリンクは、ゆめタウン高松より提供いただきました。ありがとうございました。

手をつなぐのって、いいかも。



©Jun Takabatake



平成21年度

アメリカ セント・ピーターズバーグ市

親善研修生受け入れ事業

今年も7月5日から25日の20日間、アメリカの姉妹都市セント・ピーターズバーグから親善研修生がやってきました。

今回は新型インフルエンザの影響で、予定していた学校での国際交流の日程が変更になりましたが、その間市内観光を行いました。中でも直島への船旅では、瀬戸内海的美しさ、かおりなど、故郷の海との違いを実感し、喜んでいました。高校では学校放送に携わっている研修生だけあって何事にも興味津津。日本の食事を食べられるだけ食べて、その感想を学校で伝えるという使命感に燃えていました。

ホストファミリーの方々は1家庭1週間という滞在期間で、はじめは戸惑う面も多々あったようですが、何事にも興味を持って前向きに対話をする研修生に、密度のある国際交流が図れたとおっしゃっていました。



セント・ピーターズバーグ市 派遣高校生親善研修



7月18日から、高松市の高校生3人がセント・ピーターズバーグ市を訪れました。今年は、新型インフルエンザの影響で1人が遅れての出発、また、先発2人の飛行機到着が遅れ、デトロイトでの予想外の宿泊等、色々とはアクシデントはありましたが、3人の生徒たちは周りの方々にも助けられ、自分たちで乗り越えていきました。セ市では、ホームステイを通じて現地の方々と交流したり、各自の興味のある分野の研修を受けたり、また、メジャーリーグを見学し岩村選手にも会いました。有意義な経験を通して31日に帰国した彼らは、より自信をつけて一回り成長しているようでした。

※研修報告書ができました。興味のある方は協会までお問い合わせください。



平成21年度 セント・ピーターズバーグ市派遣 高校生親善研修生からの一言メッセージ♪



高松高専3年 篠原由衣

今までしたことのない経験が沢山できました。とても楽しかったです!



高松高専3年 嶋克久良

最高の一時でした。岩村選手にも会えて感激!! ありがとうございます。



高松一高2年 横山みゆき

この2週間、高松の誰にも負けないくらい内容の濃い生活を送る事が出来たと胸を張って言える。

平成21年度

第1回「国際交流団体」 情報交換会

一年に2回行われる情報交換会が、6月23日(火)に開かれ、高松市内の国際交流団体のうち13団体15名の代表が、各団体の行事内容や今後の国際事業の予定をそれぞれ紹介しました。

その後のフリートークでは、各団体のイベントの参加方法等について話し合わせ、アイデアや情報を共有する有意義な時間となりました。

行事予定はTIAのホームページに記載してありますので是非ご覧下さい。また、新しい情報がありましたら当協会までご連絡下さい。



第17回 中学生訪中親善使節団

高松の中学生による姉妹都市中国南昌市訪問が17回目を迎え、今年も生徒15名、引率3名の総計18名が、上海、北京そして南昌市を3月25日から3月30日までの6日間の日程で訪れました。

発展著しい上海に驚き、北京では故宫や万里の長城に感動しました。

なかでも、南昌市の人々による熱烈歓迎、南昌大学附属中学での交流、2泊3日のホームステイは、皆さん温かく迎えてくださりとても心に残りました。この様な交流は、参加した15名の中学生たちの忘れられない経験となり、今後両市がますます親しく交流していく支えとなってくれると思います。

※団員達の体験・感想をまとめた報告書ができています。
協会までお問い合わせ下さい。



南昌大学附属中学訪問団受入事業

今年3月に高松市中学生親善使節団が訪問して学校交流を行った南昌大学附属中学代表团（生徒18名、引率3名）が8月18日から23日までの日程で来高し、日本の中学生と、5ヶ月ぶりの再会を果たしました。高松市では岡内副市長表敬訪問をはじめ、美術展の観覧や十二単と日本昔の遊戯等を体験しました。また、2泊のホームステイを通じて異文化体験を楽しむことができました。その後、一行は東京へ向かい、ディズニーランド、浅草寺等を見学して日本の風景を満喫して無事帰国しました。



ホストファミリー対面式



浅草にて



歓迎会で桜の歌を披露

平成21年度

カムチャツカ国立大学ホームステイ

今夏も、カムチャツカ国立大学より男子大学生1名、女子大学生7名、女子高校生1名、総勢9名の訪問団が来高しました。ウラジオストックから新潟を経由して二日間の長旅ですが、今年で4回目の訪問になります。一行がホームステイを体験したのは、7月17日から19日の2泊3日、一ヶ月程高松滞在最終の週末でした。高松滞在中は、穴吹ビジネスカレッジにて日本語研修を受けながら、様々な場所へ観光に出かけたりして日本の文化に接していましたが、やはり地元の人々と直接交流することのできるホームステイは特別な思い出になったようです。対面式では緊張していた学生さんも、次第に家族に打ち解け、一緒に日本料理を作って食べたり、岡山や愛媛に足を伸ばして出かけた家族もあったりと、大満喫な滞在になったようです。



姉妹都市・友好都市から



From中国・南昌市
JA香川県農業協同組合 国際交流センター

顔 志雄

皆さん、こんにちは。中国南昌からの顔志雄です。今JA香川県国際交流センターで働いています。今年3月末に高松市に来て、農業生産の第一線で研修している同郷の中国人と触れ合いながら、毎日充実した仕事をしてきました。あっという間に5ヶ月が過ぎました。この間、JAや農家の皆さんにたいへんお世話になりました。

日本に長く滞在すればするほど、実際の目で見て、心で感じ取ったさまざまな経験から、真の日本の姿や日本人の心が見えてくると思います。中日両国において、国民性や文化習慣などが違うところがありますが、平和を追求、友好を愛するということがやはり互いに心に通っているのだとしみじみと感じています。

誠心誠意で、人と付き合っ、育まれた友情を、一つ一つ積み重ねていけば、「ちりも積もれば、山となる」と言われるように、最後に国と国との友好につながるはず。私は高松市にいる間に、仕事を介しながら、高松の皆さんに真実の中国事情を伝えたりして、皆さんが中国のことを正しく理解、認識していただくように、最後まで頑張っていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

高松市国際交流協会

私費外国人留学生奨学金支給制度

(財) 松平公益会から高松市の国際交流の振興に寄与することになればということで、毎年ご寄附をいただけることになりました。当協会ではこの浄財で、今年度から新たに私費外国人留学生奨学金支給制度を設けました。



奨学金を支給することにより、優秀な人材を育成するとともに、奨学金を受けた留学生の皆さんには将来母国と高松市の架け橋になってもらい、市民レベルの友好・親善活動を推進していただきます。今年度は中国から香川大学への留学生2名、高松大学への留学生1名に決定し、去る6月19日に綾田理事長から、1回目の奨学金4か月分が手渡されました。



国際交流団体 紹介

KICA香川国際文化協会



『Kagawa International Cultural Association』

略してK.I.C.A.と言ひます。

設立は1980年で、来年でちょうど30周年になります。設立の目的は、英語を通して日本と外国の文化を研究し、相互の理解に努めると同時に、英語を聞く・話す能力の向上を目指しています。その為、毎月一回県内在住の外国人を招待して、その国の文化や事情等について説明をして頂くと同時に、英語での質疑応答の時間をとっています。また、年に数回日本の伝統文化である茶道、華道、琴、三弦、尺八等を紹介する場をもっています。会員の中には外国人を家庭に招待したり、ホームステイをさせたりしています。また、2005年より、香川県では初めて小学生の英語暗唱大会を開催しています。その目的は、小学生の頃より世界の共通語と言われている英語に親しみ、正しい英語の発音を身に着けると共に、人前で、英語で発表する態度を養い、同時に国際理解を深めることを目的としています。毎年応募者が増加しており、今年実施された第5回小学生英語暗唱大会には高松市内の小学生、1年生から6年生まで72名の応募者がありました。



外国人の生の英語を聞き、また自分の英語の向上を望みたい人は自由に入会できます。入会した場合は、毎年英文にてその月の会の日時や外国人のスピーチについてお知らせします。

入会金は年額3000円です。外国人講師のお礼とアイパル借用料に当てています。どうぞ入会をお待ちしています。

連絡場所：〒761-8046高松市川部町1801-2 穴吹 荘三 Tel：087-886-1667

TIAの今後の主な事業予定

- 11月 11/1(日) かがわ国際フェスタ2009
アイパル香川・中央公園
- 11月 11/15(日) 国際交流秋のお茶会
玉藻公園披雲閣
- 11月 11月末 国際交流団体情報交換会
アイパル香川
- 1月 1/10(日) さぬき国際交流お正月会
アイパル香川
- 2月 2/14(日) 予定 春節友好交流会
アイパル香川
- 3月 3月末
第18回中学生訪中親善使節団派遣

詳しい日程が決まり次第、TIAのHPやパンフレット等でご案内しますので、ぜひご参加ください。



当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は語学ボランティア、ホームステイ受け入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は是非登録してください。

英語併記の地図を活用して

Life Navigator
TAKAMATSU

高松市内はもちろん、高松近郊も入った便利な地図です。観光名所、文化施設、病院などはもとより、高速道路や温泉、八十八か所のお寺など情報満載です。

外国人：無料 / 日本人：100円



くだらなく!!

「7カ国語会話集」
「国際交流活動の手引き」
好評発売中!

外国からのお客様が我が家にホームステイすることになったら? 「なんて言えばいいの?!」 答えはこの2冊の中から見つかります。それぞれ1冊、500円で販売中です。



参加費無料

毎週日曜「日本語サロン」

13時～16時 アイパル香川3F

日本語を楽しく勉強しませんか?
参加費無料! ボランティア講師が
皆さんの参加を待っています^^

国際交流団体への
助成金制度のお知らせ

平成21年度

当協会では高松市内の国際交流団体が自主的に企画、実施する国際交流事業に対する後援および事業費等の助成制度があります。

- ①後援：名義後援
- ②事業費助成

対象：市内および姉妹・友好都市での国際交流事業。
事業経費三分の一助成、
限度額10万円。

※申請を受け付けた後、協会で審査し結果を通知することになります。

外国人私費留学生への
国民健康保険助成について

平成21年度も、高松市内に在住する私費留学生全員に国民健康保険料の一部を助成しています。
詳しくは、事務局へお問い合わせください。

編集後記



先週の日曜日、久しぶりに高松三越に行ってきました。

特にこれを買おうと決まったものがあつた訳ではなかったが、色々見ていると、欲しい物がでてきまうもので、備前焼の湯飲みを買いました。

この湯飲みでお茶を飲みながら、取材のこぼれ話や寄稿された記事などを想い浮かべ、一息ついているところです。

a.s